



報道で紹介された美瑛高校 17

◆令和6年8月30日(R6. 9. 7びえい新聞)

放課後や休日の実習など努力を続けた9名の生徒よく頑張りました！介護の専門家としての第1歩として認められたことになります。これからも感謝の気持ちを忘れず頑張っていきましょう！

美瑛高校生9人が介護職の資格を取得 介護職員初任者研修の修了書を授与

人福祉教育
機構の佐渡弘
毅理事長は、

将来を見据えた資格取得を積極的に支援。美瑛高校の1学年から3学年までの生徒9人が、介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)の研修期間を経て8月25日に受けた修了試験で全員が無事合格。30日に校長室で修了書授与式が行われ、三上英一校長から一人ひとりに修了書が手渡された。9人の中で2人は満点の成績とのことで、三上校長は「挑戦した気持ち、努力に敬意を表します」と生徒たちにねぎらいの言葉。さらに「修了書に名前のあるNPO法

何度も校長室に足を運び福祉教育への熱い思いを語ってくれた。またその時は、必ず福祉関連の企業の代表の方も連れてきてくれており、将来の就職につながるよう陰ながら応援してくれた。先生方も手厚いサポートをしてくれた。修了書と一緒に協力してくれた人々の思いも受け取ってもらえたら」との言葉を添えた。

3年生の中には、福祉関係の大学を希望している生徒もいるとのことで、人財不足が問題となっている介護職の資格は、将来の足固めにも

なるもの。町による資格試験の費用補助といった支援制度もあり、美瑛高校では先を見据えた充実のサポート体制で生徒たちの様々な可能性を広げている。

